

令和3年度アクション・プラン【阪神南県民センター】

I 目指す姿

阪神南地域は、中央部の武庫川、東部の猪名川水系が育む豊かな自然と共生しながら個性的な都市群を形成するとともに、特色のあるものづくり産業が集積している地域であり、鉄道・高速道路等の利便性の高い交通ネットワークが構築されている。

歴史的に見れば、「阪神間モダニズム」と呼ばれる独自の市民文化を生み出すとともに、多彩な市民活動が実践されるなど、日本のライフスタイルを先導してきた地域であり、特色のある美術館、博物館等の芸術・文化施設、大学、短期大学等の教育機関、甲子園球場や尼崎スポーツの森をはじめとするスポーツ施設が充実している。

阪神南県民センターでは、少子高齢化の進展や本格的な人口減少の中にあっても、人口減少を抑制しつつ、将来にわたって活力ある地域社会を構築するため、平成27年度に阪神南地域創生戦略を策定し、これまで様々な施策に精力的に取り組んできた。

令和3年度は、コロナ禍を契機として浮き彫りとなった課題や価値観の変化にも柔軟に対応しつつ、地域の特性・強みを活かした施策展開を通じ、SDGsの視点なども踏まえて、管内3市はもとより、県民、企業、団体等と連携しながら、引き続き、誰もが住んでみたい、住んで良かったと思える「安心して暮らせる阪神南地域」の実現を目指す。

【目標】「安心して暮らせる阪神南地域」の実現（数値欄の上段（網掛）は目標値、下段は実績値）

KPI	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
住んでいる地域は芸術文化に接する機会があると思う人の割合		前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	42.5%(R1)	42.7%				
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合		80%	80%	80%	80%	80%以上
	80.6%(R1)	76.0%				
観光入込客数		14,917千人	15,138千人	15,359千人	15,580千人	15,800千人
	14,475千人(H30速報)	14,727千人(R1速報)				
社会増減		転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持
	1,096人(R1)	1,663人				
住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合		前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	53.8%(R1)	53.2%				
災害の備えが確かなものと思う人の割合		39.1%	43.1%	47.1%	51.1%	55%以上
	35.1%(R1)	35.6%				
治安がよく、安心して暮らせると思う人の割合		72.8%	74.6%	76.4%	78.2%	80%以上
	71.0%(R1)	79.7%				

自転車違反摘発件数の 全県に対する割合		70.9%	65.7%	60.5%	55.3%	50%以下
	76.1%(R1)	62.6%				
市町内総生産（実質）		3兆4,062 億円	3兆4,449 億円	3兆4,836 億円	3兆5,223 億円	3兆5,608億円 以上（H28*110%）
	3兆3,288億円 以上（H30速報）	3兆3,568 億円 （R1試算値）				
開業率		6.8%	—	—	8.0%	8.0%以上
	5.7%（H26～28期）	5.7% （H26～28）				

II 対応の方向性

1 文化・スポーツを振興し、にぎわいを創出する

阪神間モダニズムや日本遺産に登録された酒造りに代表される阪神地域の多様な芸術文化資源に触れる機会を提供することにより、芸術文化の魅力あふれる住み心地の良いまちとして住民の地域への愛着を育むとともに、地域と行政が連携強化を図り、地域の魅力を情報発信することにより、交流人口の拡大を図る。

2 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

多くの若者が阪神南地域に転入する一方で、乳幼児や学童期の児童とその親の世代の転出が顕著であることから、地域企業の人材確保に取り組むとともに、地域や企業と一体となった子育て支援などにより、若者世代の定着を図る。

3 安全・安心で住みやすい地域をつくる

南海トラフ巨大地震などの自然災害から住民の安全を守るため、施設整備や防災意識の向上などの防災・減災対策に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対応に向けた体制の充実等を図るほか、ひったくり・特殊詐欺防止などの防犯対策や自転車の安全対策などを推進する。

4 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

ものづくり産業の集積地としての強みを生かし、イノベーションの促進と雇用の創出を図るため、企業のネットワークを生かした付加価値の高いものづくり産業の発展を促し、新たな起業や中小企業の新事業展開への支援、まちなか再生に向けた商店街の活性化を図る。

III 具体的な取組

1 文化・スポーツを振興し、にぎわいを創出する

（1）コロナ禍を契機とした中長期の取組強化 《－》

【主な事業】

- ① ポストコロナ社会を先導する視点を重視し、兵庫の未来を拓く取組みを強化する、リーディングプロジェクトの推進 《全県事業》

- ② 阪神・淡路大交流プロジェクトなど、兵庫五国の多様性が育んできた地域の強みや個性を活かした取組みを進める、地域プロジェクトモデル事業《全県事業》

(2) 阪神間モダニズム再発見プロジェクトの推進《4,718千円》

【主な事業】

- ① 今年度は音楽文化に着目し、甲子園ホテルなどの社交の場で、人々が鑑賞していた音楽を紹介する、阪神間モダニズムセミナーの開催《新規》
- ② 「具体美術」のさらなる普及・認知度向上の方策等について検討する、阪神間の美術館連携によるGUTAI再発見事業《新規》
- ③ 阪神間モダニズムを育む文化的素地を醸成した伝統芸能や舞台芸術の鑑賞機会を提供する、伝統芸能等の鑑賞促進事業《新規》
- ④ 貴重な文化財等を、VR技術を活用して撮影し、インターネット上にデジタルアーカイブを構築するための検討を行う、阪神アートVRミュージアム構築事業

(3) 交流の拡大及びにぎわいの創出《23,998千円》

【主な事業】

- ① 清酒文化等のテーマを設定し、関係するスポットを専門家と巡る、スペシャリストと巡る阪神間マイクロツーリズムツアーの実施《拡充》
- ② 「日本酒」等をテーマに、フォトコンテストや鉄道事業者とタイアップしたウォークイベントを開催する、日本遺産「伊丹諸白と灘の生一本」等魅力発信事業《新規》
- ③ 美術館等が無料開放を行い、文化資源へ接する機会を提供する、阪神地域オープンミュージアム無料開放DAYの実施
- ④ 商工会議所、商工会と連携し、地域のにぎわいを創出し、魅力をPRするイベントを支援する、地域の魅力発信集客イベント支援事業
- ⑤ WebサイトやSNS等により阪神南地域の魅力を発信し、交流の拡大を図る、あにあん倶楽部を活用した情報発信事業《拡充》
- ⑥ 多世代が参加・交流し、生涯スポーツの機運醸成とすそ野拡大を図る、阪神南ふれあいスポーツフェスタ2021の開催《拡充》

(4) 阪神なぎさ回廊プロジェクトの推進《12,318千円》

【主な事業】

- ① 「森と水と人が共生する環境創造のまち」を実現する、尼崎の森中央緑地の整備
- ② 養蜂による緑化事業を通じて森づくりの魅力を発信する、「都市養蜂フェスティバルin尼崎(仮称)」の開催《新規》
- ③ 事前合宿で「尼崎スポーツの森」を利用するアスリートが自らのSNS等により阪神南地域の魅力を発信する、東京五輪アスリート地域魅力発信事業《新規》

- ④ 運河クルージングなどの水辺空間の魅力を感じるイベントの開催や周遊コースとなる尼崎運河周辺のボードウォークの改修

(5) ふるさと意識の涵養 《4,370 千円》

【主な事業】

- ① 参画と協働による地域づくり活動実践者の交流を図る、阪神南県民交流大会の開催
- ② 森づくり活動を子どもの成長とともに家族で体験できる、尼崎の森ファミリークラブ事業
- ③ 地域が抱える課題解決や地域活性化への取組を支援する、阪神南ふるさとづくり応援事業

2 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

(1) 若者・女性の雇用・就業支援 《1,624 千円》

【主な事業】

- ① 高校生・大学生がものづくり現場の実態、ものづくりの楽しさに触れる機会を提供するため、就業体験バスツアー、ものづくり出張セミナー、産業用ロボットセミナーを開催

(2) 出会いの機会づくり 《—》

【主な事業】

- ① 未婚化・晩婚化への対策として、1対1のお見合いの機会を提供する、阪神南出会いサポートセンターの運営

(3) 地域や企業と一体となった子育て支援 《—》

【主な事業】

- ① 都市部に暮らす未就学児の親子に、季節ごとの森の魅力を感じてもらい、森の子育てひろばの実施
- ② 子供たちに多様な体験活動の機会を提供し、親子のふれあいを深める、青少年文化・スポーツ体験事業
- ③ 増加する児童虐待相談等に迅速かつ適切に対応する、尼崎こども家庭センターの新設 《全県事業》

3 安全・安心で住みやすい地域をつくる

(1) 新型コロナウイルス感染症への適切な対応 《—》

【主な事業】

- ① 入院医療機関等の支援、検査機能の充実、相談体制・ワクチン接種体制等の整備等

- を推進し、医療供給体制を充実【全県事業】
- ② 衛生管理体制等を強化し、社会福祉施設、学校や社会教育施設等での感染防止対策を推進【全県事業】

(2) 防災・減災対策の充実 《2,000 千円》

【主な事業】

- ① 巨大津波に備えた防災・減災対策として防潮堤の整備等を実施する、津波防災インフラ整備計画の推進【全県事業】
- ② 平成30年台風第21号により浸水被害が発生した地区の再度災害防止の緊急対策等を実施する、兵庫県高潮対策10箇年計画の推進【全県事業】
- ③ 救援物資等の備蓄・集積・搬送、応急活動要員の拠点となる、阪神南広域防災拠点の運営
- ④ 高潮や津波に対する地域防災力の向上を図るため、防災展示施設の特別公開、防災クルーズ、出前講座等を実施し、防災学習機会を充実
- ⑥ 大規模災害発生時における企業経済活動の継続を図り、企業の防災力向上を促進する、企業BCP策定支援事業【全県事業】

(3) 防犯対策の強化 《925 千円》

【主な事業】

- ① 警察、市、防犯協会等と連携して行う、ひったくり・特殊詐欺防止キャンペーンの実施
- ② 子どもの安全・安心確保のリーダー養成研修等を内容とする、阪神南地域安全まちづくり県民交流大会の開催

(4) 自転車まちづくりの推進 《2,575 千円》

【主な事業】

- ① 「武庫川・六甲山ヒルクライムルート」にモデルルートサインやルート案内看板等を設置する、サイクリングモデルルートの環境整備
- ② 交通マナーの向上を図り、自転車関係事故を減らすため、警察、市、交通安全協会等と連携して行う、自転車運転マナーアップキャンペーンの実施

(5) 快適な生活環境づくり 《12,800 千円》

【主な事業】

- ① 除草が不要となる簡便な道路補修工法の確立を目指すとともに、大阪・関西万博に向けた美化を推進《新規》

- ② 街路樹カルテのデータベース化により継続的な維持管理及び計画的な更新等を進める、まちの品格・風格を高める街路樹リノベーションの実施《拡充》
- ③ 水質浄化施設での人工干潟づくりなど、大学とともに共同研究を行う、水質浄化プロジェクトの推進

(6) 地域活動の担い手の確保 《5, 171 千円》

【主な事業】

- ① 「阪神市民文化社会ビジョン」の実現に向けた地域ビジョン委員会の実践活動等を支援
- ② セミナーの開催などにより次代を担う青少年の育成活動の担い手を養成する、こころ豊かな人づくり 500 人委員会育成事業
- ③ 学生が地域団体等と連携して地域の活性化に取り組む活動を支援する、大学生による地域活性化支援事業《拡充》

(7) 安心できる医療・福祉サービスの確保 《1, 200 千円》

【主な事業】

- ① 新型コロナウイルス等感染症対策と薬剤耐性菌の感染拡大防止を推進するため、医療機関と保健所が情報共有、対応協議等を行う、阪神南県域感染症対策事業
- ② 医療資源の有効活用に必要な病院間の連携強化方策等や小児救急医療、二次輪番体制の課題を検討する、圏域医療確保対策事業
- ③ 在宅医療・介護連携の充実のため、関係機関（医療・介護・福祉）の連携体制を強化する、地域包括ケアシステム推進支援事業
- ④ 安定的・継続的に良質な医療を提供するための、県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編整備【全県事業】
- ⑤ 肢体不自由児者の機能維持等を図る拠点施設として、専門的な診療・リハビリ等を提供する、県立障害児者リハビリテーションセンターの運営【全県事業】

4 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

(1) 起業しやすい環境づくり 《1, 000 千円》

【主な事業】

- ① 創業に関する知識を持たない大学生等を対象とした出前講座やより効果的な創業支援のあり方を協議する促進ネットワーク会議を開催する、若者向け創業支援の実施
- ② 尼崎市と連携のもと、活躍する起業家を支援する、起業プラザひょうご尼崎の運営【全県事業】

(2) 新事業展開への支援 《9,628 千円》

【主な事業】

- ① 特に優れた先端技術を「リーディングテクノロジー」として認定し、ポストコロナも見据えた製品化・事業化を支援する、阪神南リーディングテクノロジー (LT) 実用化支援事業
- ② 国際フロンティア産業メッセへの共同出展など、販路開拓を図るものづくり中小企業を支援

(3) 商店街等の活性化 《500 千円》

【主な事業】

- ① 大学生の若い感性を生かした商店街の活性化を図るため、大学生が商店街と連携して実施する活動を支援する、大学生による商店街活性化事業
- ② 商店街が行う地域性・独自性のある取組や継続的な賑わいを創出する企画など、コロナ渦で集客に繋がる取組等を支援する、商店街ファンづくり応援事業【全県事業】

注：予算額は、阪神南県民センター独自の地域創生に寄与する施策のみを計上